結果の概要

全国人口

1 人口の動向

総人口は1億2777万人でほぼ横ばい,日本人人口は減少

平成18年10月1日現在の我が国の総人口は1億2777万人で,17年10月から18年9月までの1年間に2千人(0.00%)増加した。人口増減は,これまで増加幅が縮小傾向で推移し,平成17年には前年に比べ1万9千人(-0.01%)の減少と戦後初めての減少となったが,18年は前年とほぼ横ばいとなった。 (表1,図1,表2)

日本人人口は1億2615万4千人で,前年に比べ5万1千人(-0.04%)減少し,2年連続の減少となった。 (表1)

	4	総人口		日本人人口					
年次	10月1日現在	増減数 ¹⁾	増減率2)	10月1日現在	増減数 ¹⁾	増減率2)			
	人口(千人)	(千人)	(%)	人口(千人)	(千人)	(%)			
平成14年	127,486	170	0.13	126,053	122	0.10			
15	127,694	208	0.16	126,206	153	0.12			
16	127,787	93	0.07	126,266	60	0.05			
17	127,768 ³⁾	-19	-0.01	126,205 ³⁾	-61	-0.05			
18	127,770	2	0.00	126,154	-51	-0.04			

表 1 総人口及び日本人人口の推移(平成14年~18年)

- 2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期間初めの人口=期首人口)で除したもの。
- 3) 国勢調査人口。日本人人口は,総人口に対する日本人人口の割合であん分した国籍不詳を含む。

(%) (万人) 200 2.0 180 1.8 人口増減数(左目盛) 人口増減率(右目盛) 160 1.6 140 1.4 П 1.2 120 増 増 100 1.0 減 減 80 8.0 数 0.6 60 40 0.4 0.2 20 0 0.0 - 20 -0.2 平成 昭和 35 40 45 50 55 60 12 18 25年 2年

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移(昭和25年~平成18年)

注)人口増減率は,前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したもの。

注1) 平成17年までの増減数には補間補正数を含む。

表2 総人口の推移(昭和60年~平成18年)

(単位 千人)

	10月 1 日 現在人口				人			増	減			(— 12	. 17()
年 次		純	増 減 ¹⁾	自	然	動	態2)		社		助 態 ³⁾		
		増減数	増減率(%)	4) 出生児数	死亡者	餤	自然増減	入国者数	出国者数	社会増	減 ^{うち} E	i本人 ^う	^ち 外国人
昭和60年	121,049 ⁵⁾	744	0.62	1,452	7	738	714	5,241	5,228		13	-7	20
61	121,660	611	0.50	1,397	7	767	630	5,599	5,606		-7	-23	16
62	122,239	579	0.48	1,372	7	752	620	6,891	6,919	-	28	-39	10
63	122,745	507	0.41	1,323	7	786	537	8,565	8,582	-	17	-54	37
平成元年	123,205	459	0.37	1,270	7	794	476	9,929	9,932		-4	-45	41
2	123,611 ⁵⁾	406	0.33	1,241	3	324	417	11,303	11,301		2	-30	32
3	124,101	490	0.40	1,224		329	394	11,168	11,130		38	-19	57
4	124,567	466	0.38	1,228		354	374	12,720	12,685		34	-7	41
5	124,938	370	0.30	1,205		382	322	12,398	12,408	-	10	-17	8
6	125,265	327	0.26	1,229	3	377	351	13,982	14,064	-	82	-76	-6
7	125,570 ⁵⁾	305	0.24	1,222		925	297	15,653	15,703	-	50	-50	0
8	125,859	289	0.23	1,203		396	307	17,375	17,388	-	13	-35	23
9	126,157	297	0.24	1,209	Ş	921	288	17,974	17,960		14	-42	56
10	126,472	315	0.25	1,215		933	282	17,028	16,990		38	-2	40
11	126,667	195	0.15	1,198		985	212	17,237	17,249	-	12	-43	30
12	126,926 ⁵⁾	259	0.20	1,194		968	226	18,462	18,424		38	-50	88
13	127,316	390	0.31	1,185		966	219	19,266	19,120	1	46	66	79
14	127,486	170	0.13	1,176		981	195	16,321	16,372	-	51	-104	53
15	127,694	208	0.16	1,138	1,0	023	115	15,038	14,970		68	3	65
16	127,787	93	0.07	1,126	1,0)24	103	17,673	17,709	-	35	-77	42
17	127,768 ⁵⁾	-19	-0.01	1,087	1,0	078	9	18,951	19,004	-	53	-103	50
18	127,770	2	0.00	1,090	1,0	090	0	2,836	2,835		1	-60	61

注1) 平成17年までの純増減には補間補正数(国勢調査人口を基に算出した推計人口と,その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの。)を含む。このため,自然増減と社会増減の計は純増減と一致しない。

男性は2年連続の減少,女性は引き続き増加

男女別にみると,男性は6233万人(総人口の48.8%)で前年に比べ1万9千人(-0.03%)減と2年連続の減少,女性は6544万人(同51.2%)で2万1千人(0.03%)増と引き続き増加となっている。また,女性が男性より311万人多く,人口性比(女性100人に対する男性の数)は95.2となっている。 (表3)

表3 男女別人口の推移(平成7年~18年)

(単位 千人)

												(-	12 17()
			男		女								
年 次	10月1日	純	増 減 ¹⁾	自然	社会	補間 3)	10月1日	純 増	創減 ¹⁾	自然	社会	補間 3)	人口性比
	現在人口	増減数	増減率(%) ²⁾	増減		補正数	現在人口	増減数 増	減率(%) ²⁾	増減	増減	補正数	
平成 7 年	E 61,574 ⁴⁾	128	0.21	123	-25	30	63,996 ⁴⁾	177	0.28	174	-25	28	96.2
8	61,698	124	0.20	129	-16	11	64,161	165	0.26	178	3	-16	96.2
9	61,827	129	0.21	118	0	11	64,329	168	0.26	170	14	-16	96.1
10	61,952	125	0.20	113	0	11	64,520	190	0.30	169	38	-16	96.0
11	62,017	65	0.10	77	-24	11	64,650	130	0.20	135	11	-16	95.9
12	62,111 ⁴⁾	94	0.15	85	-2	11	64,815 ⁴⁾	165	0.26	141	40	-16	95.8
13	62,265	155	0.25	81	52	21	65,051	236	0.36	138	94	4	95.7
14	62,295	30	0.05	69	-60	21	65,190	140	0.21	126	10	4	95.6
15	62,368	73	0.12	28	23	21	65,326	136	0.21	87	45	4	95.5
16	62,380	12	0.02	22	-31	21	65,407	80	0.12	81	-5	4	95.4
17	62,349 ⁴⁾	⁾ -31	-0.05	-25	-28	21	65,419 ⁴⁾	12	0.02	34	-25	4	95.3
18	62,330	-19	-0.03	-26	7	-	65,440	21	0.03	26	-6	-	95.2

注1) 前年10月から当年9月までの増減数。

- 2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したもの。
- 3) 国勢調査人口を基に算出した推計人口と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの。
- 4) 国勢調査人口。

^{2) 「}人口動態統計」(厚生労働省)による。

^{3) 「}出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については,海外滞在90日以内の入国者数,出国者数を含めている。

⁴⁾ 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したもの。

⁵⁾ 国勢調査人口。

社会増減は日本人が出国超過,外国人が入国超過の傾向

自然増減(出生児数・死亡者数)は,近年,その増加幅が縮小傾向で推移してきている。総人口の出生児数は,第2次ベビーブーム期(昭和46年~49年)以降は減少傾向が続いており,平成18年は109万人で前年(108万7千人)に比べ4千人増加した。死亡者数は,109万人で前年(107万8千人)に比べ1万2千人増加した。出生児数と死亡者数は同数となり,自然増減は横ばいとなっている。男女別にみると,男性は出生児数が死亡者数を下回って自然減少が2年連続となり,女性は自然増加が続いているが増加幅は縮小している。 (表2,表3,図2,図3)

社会増減(入国者数・出国者数)は,近年,日本人は出国超過,外国人は入国超過の傾向で推移してきている。平成18年は入国者数が283万6千人(うち日本人は121万6千人,外国人は162万人),出国者数が283万5千人(うち日本人は127万6千人,外国人は155万9千人)となっており,外国人の入国超過数(6万1千人)が日本人の出国超過数(6万人)を上回り,社会増減は1千人の増加となっている。

(表2,図2)

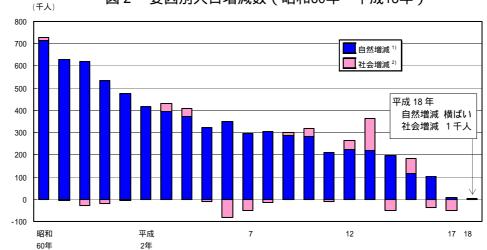


図2 要因別人口増減数(昭和60年~平成18年)

注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2)「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在 90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

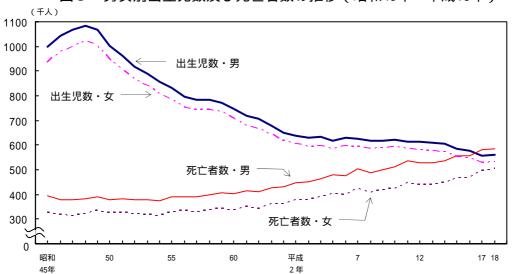


図 3 男女別出生児数及び死亡者数の推移(昭和45年~平成18年)

注)「人口動態統計」(厚生労働省)による。